

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	148
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)	
法令・例規等			環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的	対象	市民の生活環境			
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境の維持			

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<ul style="list-style-type: none"> 簡易浄化槽の適正な管理のために啓発・指導に取り組みました。 市内の主要な河川の水質検査を実施し汚染状況を確認しました。 地下水(井戸水)の水質等を調査しました。また、リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響を把握するため、関係地の地下水の水位等を調査しました。 自動車騒音、悪臭、その他の測定により実態を確認しました。 環境汚染が発生した折は、長野県をはじめ関係機関と連携して速やかに適切な対応に努めました。 		生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費				940	
			河川水質保全関連経費				3,706	
			地下水水質管理関連経費				2,504	
			小規模水道管理費				136	
			騒音・悪臭その他公害防止対策費				4,485	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	
	生活雑排水汚泥汲取量	kl	218.5	108.5	88.5			
	河川のBODの目標の達成率	%	97.7	100	95.5			
	市が幹線する井戸水検査受検世帯数	世帯	180	183	227			
	騒音の環境基準達成率	%	70	60	80			
	悪臭の防止目標の達成率	%	100	100	100			
	微小粒子状物質(PM2.5)の現状と動向	基準達成・未達成		達成	達成			
30年度決算(千円)	予算額	12,699	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	11,771						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	11,771							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	1,675	940	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	3,708	3,706	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	2,508	2,504	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	11	5	213	136	小規模水道管理費
5	1	4	1	5	12	1	4,595	4,485	騒音・悪臭その他公害防止対策費
6									
7									
振り返り課題認識		生活雑排水汚泥の汲み取りや井戸水の検査などについては、根強い要望があり依然として必要性はありますが、徐々に数量が減少してきており、今後取り組み方針などについて見直しが必要と思われます。河川汚濁(油類流出事案)や専用水道、アスベスト対策など、過去の経過から環境課の事業とされていますが、業務の性質、市民対応窓口として他にふさわしい部署があると思われる業務もあり、今後庁内での調整が必要と思われます。							
上記の課題解決のための有効策		環境課の事業のうち、法の性質や業務内容、市民へのわかりやすさなどを精査し、必要であれば他部署と調整を行います。							
次年度に向けての取り組み		生活雑排水汚泥の汲み取りや井戸水検査といった事業については需要量を把握しながら継続実施していきます。また、リニア工事などに代表される社会環境変化に起因する新たな公害の未然防止に努めるとともに、万が一発生した際には、速やかな対応ができる体制の整備に努めます。							